

彩北通信

月刊 No. 144
2019年2月1日発行
発行元：彩北進学塾
発行責任者：蓮 克彦

〒366-0827 埼玉県深谷市栄町17-2

TEL 048-575-3291 E-mail: info@saihoku-juku.com

蓮塾長のブログ(彩北日記) ⇒ <http://ameblo.jp/saihoku-sj/>

入試や期末テストに向けて

中3生はいよいよ公立高校入試まで1か月を切ります。ここまで来たら慌てても仕方ありません。今やれることをやるのみ。いろいろな問題集を手あたり次第やるのではなく、今までやったものを確認し、最終チェックへと入っていく段階です。まだまだ伸ばせますので、気を抜かずに緊張感をもって学習しましょう。中1・2年生は期末テストですね。3学期の学年末テストは範囲も広いですし、何よりも内申に大きく影響しますので、早めに準備し、ワークは3回取り組みましょう。小学生は学年のまとめ。苦手を苦手なまま進級しないように1つでも克服しましょう。

◎名言・一言

ラクはいつでもできます。
でも、ラクばかりしていると、もっと苦しいことが待っていたりする。
水木しげる(漫画家)

☆貴方に送る今月のおすすめ☆ 今月のおすすめは、**文庫本** です

「羊と鋼の森」(宮下奈都)文春文庫

高校生の時、偶然ピアノ調律師の板鳥と出会って以来、調律に魅せられた外村は、念願の調律師として働き始める。ひたすら音と向き合い、人と向き合う外村。個性豊かな先輩たちや双子の姉妹に囲まれながら、調律の森へと深く分け入っていく。一人の青年が成長する姿を温かく静謐な筆致で描いた感動作。

▼お知らせ▼

- ・小学校6年生のグループ指導は、2月より「新中1準備講座」となります。
- ・中2以下の保護者面談を実施いたします。ご協力のほど、お願いします。
- ・3月4日より新年度開始となります。

■最近のニュースから■

埼玉県がまとめた平成30年度学校保健統計調査で、裸眼視力1.0未満の小学生が、県別集計が始まった平成18年度以降、初めて3割を超えたことが明らかになった。県統計課は「スマホやパソコンの使用が増えて目に悪影響が出ている可能性がある」と懸念している。一方、虫歯の割合は大きく減少した。

埼玉県統計課によると、調査対象は県内の幼稚園～高校に在籍する満5～17歳の児童・生徒で、健康状態調査は11万4497人、身長・体重の調査は1万6983人に実施した。

県の裸眼視力1.0未満の小学生の割合は30.7%で、全国平均34.1%は下回ったが、スマホやパソコンの使い過ぎに注意して目を休めるなど気を付ける必要があるとしている。

とくに、11歳の5人に1人が生活に支障の出る裸眼視力0.3未満で、10歳では15.3%となっている。「0.3以上、0.7未満」の割合は9.10歳が14%と高くなっているが、小学校の中学年から高学年にかけての視力低下が顕著にうかがえる結果となった。

一方、虫歯は年々減少する傾向にあり、虫歯の小学生の割合は18年度に63.9%だったのが、30年度には37.9%まで減少した。幼稚園児、中高でも大幅に減少していた。同課は「各自の口腔(こうくう)ケアや学校での歯磨き指導の成果が出ている」と話している。(以下略 2019.1.15 産経新聞)

▽勉強方法ワンポイントアドバイス▽

真似て慣れる

数学は真似る・慣れることが重要です。ですので、例題を理解しながら解くことから始めて例題が理解できたら類題を解くわけです。たくさん問題を解いてください。例題を理解し、問題を解くことの繰り返しは数学の成績の上げ方です。

問題を見た瞬間に解き方が分かるようになったら完璧です。数学は、1度も解いたことが無いとほぼ解けませんので。

♪合格祈願お菓子特集♪

- ・「キットカット」(きつと勝つと)
- ・「ウカール」(受験にうかる)
- ・「Toppa」(受験に突破)
- ・「キシリトールガム」(きっちり通る)
- ・「ポッキー」(逆から読むと吉報)
- ・「合格かっぱえびせん」
- ・「カナエルコーン」
- ・「勝ちグミチョコ」
- ・「コアラのマーチ」(木から落ちない)
- ・「ダルマサイダー」